

年貢のとりたてがうまくできるように村の中に「組」とよばれるものが作られました。五人組がいくつか集まって人きな「組」が作られ、やがて部落となりました。

上練馬村二十五組二百六十三軒のうち田柄村には七組六十五軒ありました。(一六七五年)

四季おりおりの野菜を遠く江戸の市場まで大八車に乗せて運びました。

[illegible]